

県立取手第二高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

<p>〈学習・探究意識の確立〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な学習と探究活動 ・ICT の発展的活用 ・個別支援の拡充 <p>〈規範意識の向上〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会で通用するマナーの修得 ・安心して過ごせる環境づくり ・頑張りやすい雰囲気づくり <p>〈豊かな体力と社会性の増進〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者への思いやりと感謝しあえる関係構築 ・協働的な活動を活かした体力づくり ・健康な身体と人間力の育成

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 地域や社会の人や暮らし、自己の在り方に関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の特徴と、人々の関わりや協働の大切さに気付く。</p> <p>(2) 地域や社会の人や暮らしと自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査分析、検証する力を身に付けたりするとともに、論理的にまとめ・表現する力を身に付ける。</p> <p>(3) 地域や社会の人や暮らし、自己の在り方についての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの特性を認めつつ、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を育てる。</p>	<p>授業担当者による協議や情報交換に基づき、学習状況の過程から結果までを総合的に評価する。</p> <p>第 1 学年 発表やグループ協議など授業への参加姿勢から授業後の振り返りまでを評価する。</p> <p>第 2 学年 課題設定の適切さ、情報収集及び分析の精度、中間報告、まとめ発表をそれぞれ評価する。</p> <p>第 3 学年 課題設定の適切さ、情報収集の精度、自己分析の客観性、振り返りをそれぞれ評価する。</p> <p>全学年 個々の 1 年間の成果「学びの総括」を評価する。</p>	<p>個に応じた課題や、グループ活動の際の役割分担の明確化など、すべきことを明示し、取り組みの過程を評価することで、自己肯定感や達成感を育む。</p>

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1 年	<p>「地域活性化・まちづくり提案」 取手市において SDGs（持続可能な開発目標）に基づいて持続可能な社会の実現に取り組む企業などへの訪問(フィールドワーク等)を通して社会に主体的に関わり、環境保全等について理解を深めるとともに地域の課題を把握し、地域活性化・まちづくり提案を行う。</p> <p>「キャリア学習」 学ぶこと・働くことの意義を理解するとともに、労働における課題や、課題解決に向けた大学・企業等各種機関の取り組みを理解する。多様な価値観や規範意識についてグループ等での意見交換を経て、振り返り作業で個に還元する。</p>	<p>取手市内の SDGs 推進企業や市役所関係課を訪問し、ヒアリング調査を実施する。また、大学講師や NPO 法人による出前講座を通じて、課題発見スキルや SDGs への理解を深める。多様な職種の社会人を招いたパネルディスカッションやインタビュー活動を行い、働くことの意義や多様な価値観を学ぶ。これらの外部連携を通じて、地域課題の把握と自己の在り方の探究を推進する。</p>	<p>SDGs を起点に地域課題や環境問題を自分事と捉え、持続可能な社会を担う自覚を養う。外部連携を通じ、情報を適切に収集・整理して論理的に発信する力を磨く。また、働く意義や多様な価値観に触れることで自己の在り方を模索する。他者を尊重し感謝する姿勢を持ち、地域活性化の提案に主体的・協働的に取り組む生徒の育成を目指す。</p>
2 年	<p>「自己分析と他者理解」 自己の在り方についての課題設定と解決の取り組みを通して自己分析を行う。グループ協議により他者理解を深めるとともに合意形成の手法を養う。</p> <p>「地域探究」 自分の居住地域や修学旅行先を対象に、グループを主体として、課題設定、情報収集及び分析、ポスターセッション等の段階的な学習活動を行う。</p>	<p>「自己分析と他者理解」および「地域探究」の学習をより深めるため、地域社会・行政機関・企業・大学等との外部連携を積極的に進める。外部の多様な視点や専門性を取り入れることで、生徒が自ら課題を見だし、協働的に解決へ向かう力を育成することを目的とする。</p>	<p>生徒が自らの生き方や価値観を見つめ、課題を主体的に設定し、その解決に向けて粘り強く取り組む姿勢を育む。また、グループ協議を通して多様な意見を尊重し、他者の考えを理解しながら合意形成を図る力を身につけることで、協働的に学び合う態度を養う。</p>

様式 1

<p>3年</p>	<p>「キャリア学習」 学ぶこと・働くことの意義を理解するとともに、労働における課題や、課題解決に向けた大学・企業等各種機関の取り組みを理解する。多様な価値観や規範意識についてグループ等での意見交換を経て、振り返り作業で個に還元する。 「進路探究」 進路希望に基づいて個に応じた進路別の対策を行う中で各自の課題を発見し、情報を整理・分析する過程を通じて課題を解決する力を養う。</p>	<p>「キャリア学習」では、大学・企業・行政機関・地域団体などと連携し、働くことの意義や労働の課題、社会の取り組みを実際の声や事例から学ぶ機会をつくる。 「進路探究」では、大学・専門学校・企業・OB・OGとの協働により、進路別の情報提供や相談機会を確保し、情報収集・分析を支援する。これらの外部連携を通して、生徒が自ら課題を発見し、進路実現に向けて主体的に行動できる力を育成する。</p>	<p>キャリア学習と進路探究を通して、社会の仕組みや働くことの意義を理解し、多様な価値観を尊重しながら自分の生き方を主体的に考えられる生徒を育てる。社会の課題を自分ごととして捉え、必要な情報を収集・整理・分析し、自らの進路に応じて課題を発見して解決に向けて行動できる力を身につけることで、未来を自分で選び取る姿を目指す。</p>
-----------	---	---	--